

読んでスッキリ♪ いまさら聞けない？
話題のニュースを学べるマガジン

ご参考資料 ピクテ投信投資顧問

Bonjour

ボンジュール!!

2016年
8月3日号

Vol.316



今、時代はイールド・ハンティング(利回り追求)!

● 世界的な金利低下

ユーロ圏やスイスなどに続いて、今年1月29日には日本もマイナス金利の導入を決定しました。世界的にも利回りが低下し、先進国国債などで利回りを期待することが難しい環境になっています。

● イールド・ハンティング

世界的な金利低下を受けて、「イールド・ハンティング(利回り追求)」の動きが高まってきており、国債などの代わりに注目を集めているのが、高配当株式です。

主要資産の利回りをリーマンショック前と比べてみましょう。

世界国債は、2008年8月の3.2%から2016年6月には0.6%、日本国債は1.1%から-0.2%へ、オーストラリア国債は5.7%から1.9%といずれも大きく低下しています。利回りが低下したということは、債券価格が上昇したことを意味しますが、今後はこれ以上の利回り低下余地は限定的であり、債券価格の上昇も期待しにくいといえます。しかし、こうしたなか**世界高配当公益株式は2008年8月も2016年6月も4.4%と、相対的に高い配当利回りを維持しています。**

※世界国債、日本国債、オーストラリア国債:シティ世界各国国債指数

● 世界公益株式

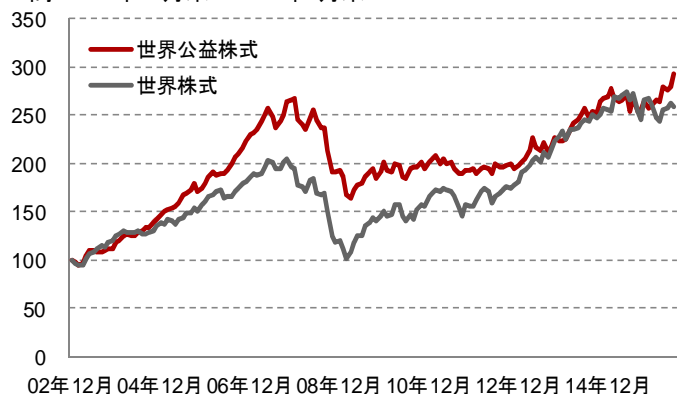
為替の影響を除いた現地通貨ベースで見ると、長期的に世界公益株式は世界株式を上回

って推移してきました。また、足元世界株式が軟調に推移しているなか、世界公益株式のパフォーマンスは上昇しています。

これは**世界的な低金利の今、相対的に配当利回りが高く、借入金に対する利払い負担の減少が期待できる公益企業にとってプラスといえるからです。**

円安局面においては為替差益も収益獲得のチャンスにはなりますが、低金利の今、**為替リスクを抑えてイールド・ハンティング(利回り追求)にポイントを置いた投資を考えてもいいのではないのでしょうか。**

■世界公益株式と世界株式のパフォーマンス
月次、現地通貨ベース、2002年12月末=100として指数化、期間:2002年12月末~2016年6月末



02年12月 04年12月 06年12月 08年12月 10年12月 12年12月 14年12月
※世界公益株式:MSCI世界公益株価指数、世界株式:MSCI世界株価指数、すべて配当込み。出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成
※MSCI指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。データは過去の実績であり、**将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。**

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。